

ADVICE
不器用な
人たちの
話し方

話が不器用な人の タイプとその処方箋とは？

器用な話し方は
まったく心に響かない



以前はブライダルなどの司会者として、現在は話し方コンサルタントとしても活躍する宮北結信さん。人前でよどみなく話すのが得意だったからこそ、この仕事に就いたと思います。が、「とんでもない。私はいまも昔も不器用なまま。ブライダルの司会を始めた頃は大勢の列席者を前に「見られている」と意識

宮北結信さん

「心」に響く話し方とは、TV番組で29年の経験を活かして、「言葉」心に響く話し方「スワールセミナー」を主宰。個人・法人レッスンをベースに「話す以上の心を伝える話し方」を指導。企業・個人各種の心に響く話し方（B2B向け）話し方も指導が特徴のアドバイス。（著書出版）

宮北さん、セルフマガ情報

無料登録が可能なセルフマガ「言葉通信」では、話し方のヒントと読者限定プレゼント付のライターが執筆、中絶すると「見られない」と印象に残る話し方特集が無料でもらえるキャンペーン中。登録は<http://www.gyokyo.net/>

よくある
タイプ
1

しどろもどろ タイプ

人前になるとうまく言葉が出てこない。自分の考えを相手に伝えられない。段取り通りスムーズに物事を進めるのも苦手で、周囲からの評価は「のろまなヤツ」



宮北さんのアドバイス
練習を積むこと。
アドリブはダメ!



うまく話せないなら、さっさと本番はご遠慮。プレゼンや商談の前に話す内容を書き出し、声に出して練習しましょう。アドリブは苦手なので、事前の入念な準備でカバーする

よくある
タイプ
2

目が合わせられないタイプ

商談の席に着いたり、大勢の前に立つと緊張して、相手や聴衆と目が合わせられない。視線が泳いでしまう。人の目が気になってどこを見ていいかわからない



宮北さんのアドバイス

1対1の場合、まず自分の手にも目を配る



緊張して相手の目を見ることも必要。ただし、ずっと見つめるとお互いに緊張するので、話しながら身振り手振りを交えて、その際は指先に視線を移すなど、時折、視線をそらせる



大勢の人を前に話す時は
肩口などを見る



大勢の前で話すとき、全員と合わせていくと、相手も緊張してしまう。この場合は目を合わせる必要はなく、肩口などの角度を見ればよい!



話すことに自信がある人ほど、中身がなくて心に響かなかつたりするもの

してしまい、マイクの手は震え、頭は真っ白、言葉が出なくなるほど。それに結婚式はハブニングの連続で、気の利いたアドリブも言えませんでした」
宮北さんはこれを克服するのに、ハブニング対策のコメントをノートにリストアップ。現場